

第6回嬉野市教育委員会議（定例11月）

平成30年11月8日（木）9:30～11:00

塩田公民館 視聴覚室

1 開会

学校行事の多い時期であるが順調に推移している状況である。委員の皆さんは地域行事などにもご協力いただきご苦労いただいているところである。

2 会議録署名委員 ○○委員、○○委員

3 議題

（1）報告

①嬉野市教育の日について

（学校教育課 ・ 11月11日(日)に教育の日を予定しており例年どおり各学校工夫を凝らした取り組みを計画している。大野原小中学校は午後からの取り組みを文化発表会の中に組み込むなど例年と違っている。塩田中は LGBT の取り組みとして歌手のローズさんの講演を予定している。各委員さんにはご都合で見学に行っていたきたい。

②12月議会補正予算について

（教育総務課 ・ 辞書引き学習支援事業は小学3年生に配布している国語辞典の予算が未計上であったため補正でお願いするものである。中体連選手派遣費は塩田中バレー部などの活躍により予算が不足するもの。小中学校就学援助費は準要保護の該当者の増員によるもの。小中学校空調機設置は夏の猛暑を受け国が特例交付金事業を実施することにより取り組むもの。轟小と塩田中の光熱水費の増額は夏の猛暑によりエアコン稼働率が上がり電気料等が不足しているもの。街なみ環境整備事業は国の社会資本整備総合交付金事業で実施するものであるが補助額が減額されたことにより事業を縮小するもの。大黒町遺跡発掘調査は夏に行った確認調査に続いて実施するもの。春日大イチョウ枝折れ処理補助金は風で折れた枝が木に引っ掛かった状態となっており落下すれば拝殿を傷つける可能性があり、春日区がこれを取り除く作業をするための補助金を交付するもの。

③社会教育行事について

(文化スポーツ推進課事務局) ・11月4日に手話演劇をリバティで実施した。聾者と健常者とのからみの劇で有意義な取り組みだった。11月7日にかがやき大学一般教養で健康づくり課の栄養士が講師を行う予定。11月10日はミズノ流健康ウォークを実施する。ミズノから講師や医師に来てもらい正しいウォーキングについて学ぶことが出来る。11月24日にサガン鳥栖うれしのデイを実施する。11月25日は維新博嬉野デイを維新博会場でステージイベントを実施する。25日の大阪マラソンに職員2名が参加する。サガン鳥栖うれしのデイは小学生の2チームが試合を行う。

④不登校の状況について

(学校教育課事務局) ・不登校について文科省から発表された情報により全国と佐賀県の出現率を表示しているが増加傾向である。中学校は30日以上が3名増えて9名となった。中学校の傾向としては学年が上がるごとに不登校が多くなっているがこれは例年みられるものである。小学校は合計9名であるが大きな変化はない。

(学校教育課長) ・教育相談員が1人欠員となっていたが宮園先生に今月から引き受けていただくことになった。

(〇〇委員) ・小学生の不登校がやや増えているが小学生で不登校であった者は中学校でも不登校となる可能性が高いか。

(学校教育課事務局) ・可能性としては高い。

⑤いじめの状況について

(学校教育課事務局) ・9月に五町田小で覚知があり認知にいたっている。児童のくつに画びょうを刺されていたもので加害者はまだわかっていない。指導を行いその後はそのようなことは起こっていない。塩田中の案件は部活動中の体育館で起こったものである。加害者は被害者宅に謝罪に行っている。

(〇〇委員) ・被害者は不登校にはなっていないのか。報道でもいじめといじりの差について取り上げられていたが本人はいやと感じればいじめと思われる。

(〇〇委員) ・学校の指導としては加害者にも被害者にもケアが必要と思われる。

(学校教育課事務局) ・事象が落ち着いてから3ヶ月経過をみて何もなければ解消と判断しており重篤な状況には至るものはない。

⑥時間外勤務状況について

(学校教育課長) ・10月までの報告であるが昨年度までと違って朝の時間も入れているためかなり増えている。朝の時間を抜くと10時間ほど減っているがいずれにしても時間外勤務が多いことに変わりはない。

(〇〇委員) ・朝早く行って仕事をするのが慣例になってしまわないように管理職などが指導

をすべきと思われる。

- (〇〇委員) ・教諭も長時間になっており朝かなり早く来られているのを見かける。
(教育長) ・校長会などでも話していきたい。

(2) 協議

①教育委員会評価について

(学校教育課長) ・確かな学力の育成事業は「知」の分野であり嬉野メソッドを取り入れているが先生方の意識にまだ差があると感じる。学力に関して概ね問題ないとして評価はAとしている。豊かな心の教育推進事業は「徳」の分野であるが生きる力の教科書を活用した特設授業を実施している。嬉野学でチャオシルを活用した教育に取り組んでいる。たくましい心身の育成事業は「体」の分野であるが、運動面についてもっと考える必要がある。不登校については減少傾向とは言えないため修正する。健康増進の取り組みについてもっと工夫を要する。特別支援教育の推進については十分取り組みが出来ている。校長先生の知恵袋事業は予算も無事について取り組みが出来ている。ろくさんプランの取り組みは吉田で小中連携の事業を実施しておりうまくいっていると思われる。家庭学習時間が短いことが課題である。

(図書館長) ・図書館サービス推進について、広報はHPに工夫をし、また防災無線も積極的に利用した。ハロウィンのおはなし会の参加者が昨年度より増えるなど効果があっている。遠隔地への巡回サービスでは利用者の多い地区の滞在時間を増やすなどの工夫を行った。講談社キャラバンに来てもらい普段と違う雰囲気での取り組みが好評であった。読書講演会では佐賀女子大の先生を講師として講演を行ったがターゲットであった子育て世代の参加が少なかったのが課題である。

(教育部長) ・文化財の保存と活用について、郷土史研究会などを通じて調査情報収集を行っている。最近埋蔵文化財の照会依頼が増えている。吉浦神社横の大黒町遺跡の調査の実施を予定している。今年度は2つの企画展を予定しているが人員不足の中での取り組みであり、昨年度より実施が難しくなっている。

(教育長) ・自己評価はBとなっているが少ない人員でよくがんばっておりAでよいと思われる。

(文化スポーツ推進課事務局) ・文化の振興と環境づくり推進について、伝承芸能の振興が弱かったが小学校でくちはなぜ実施するのかなどを学びながら笛の指導を行っている。地域コミュニティの協力により行っているものである。今後の広がりが課題である。ワークショップなどいろいろな取り組みを行っているが発展的なところまでは至っていないので評価はBとしている。次世代を担う青少年の育成の取り組みとしてラジオ体操は地域で必ず取り組みましようとして実施した。今後も

継続したい。生涯学習のまちづくり推進は対象幅広くいろいろな講座を開いているが、塩田と嬉野それぞれで実施していたものを今年度は合同で実施し、活動が活発になりつつあるがまだまだ課題は残っている。スポーツのまちづくり推進は子どものうちからスポーツを好きになってもらう事業と、運動が出来ていない中高年向けの事業の2本を柱に取り組んだ。オリンピックパラリンピックに向けたスポーツ誘致などの取り組みも行った。ミズノとの連携協定を結び知恵を出し合いながら事業を行っているところである。

②学力向上フォーラムについて

(学校教育課 ・ 県が実施している事業であるが 31 年度は嬉野市で開催するものである。校長) 育の日に地域コミュニティとの取り組みを中心に開催したい。

(3) その他

・ 次回の教育委員会

12月20日(木) 13時00分～14時20分

・ 第2回教育委員会評価委員会

12月20日(木) 14時30分～16時30分

4 閉会

会議録署名委員
